

竹島に韓国駐留部隊

【京城十七日発UPI共同】白漢成韓国内相は十七日「韓国沿岸警備隊は竹島を日本の侵略から守るため駐留部隊を同島に急派した」と言明した。白内相言明によれば駐留部隊の竹島派遣は韓国沿岸警備隊所属艦艇の数が少く、同島を効果的に警備することが不可能なためとられた措置である。なお韓国内務部は、日本人が竹島に上陸したとの報道を調査するため数日前同島に沿岸警備艇六隻を派遣したが、波が高いため調査ができず引返した。

事実なら抗議 外務省見解

白韓国内相が十七日竹島に駐留部隊を急派する旨発言したとの外電について、外務省は関係当局に調査を命じているが、事実であればさきに韓国政府に抗議するよう準備している。

早く両国で了解を

見玉島根県水産商工部長談

警備隊が入ったことは困ったことだ。竹島は明らかに日本領土であり本県のもので県としては漁場の資源保護育成と新漁場の開発をしようとしていた矢先のことであるから早く両国の了解が望ましい。

竹島の帰属問題については、日本側は同島の地理的、歴史的資料にもとづいて日本の領土であることは明らかである旨の口上書を数回にわたり韓国政府に手交しており、もし韓国軍隊の派遣が事実であれば、韓国政府に抗議する意向をもっている。しかし外務省当局